

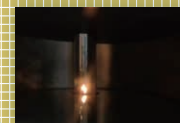
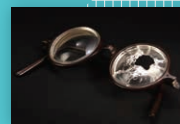
2026年版

見て・学んで・考える

平和のこと

ミュージアムガイド

全国関連施設ネットワーク会議



1945年の終戦から80年以上が経過し、戦争を体験した人たちの言葉を直接聞くことはとても難しくなっています。戦争の記憶を次の世代へ引き継ぐために、「全国関連施設ネットワーク会議」の各施設では、それぞれのテーマに関する貴重な資料や遺構の公開、企画展・イベントの開催など、さまざまな活動を行っています。

過去の戦争がいかに多くの人々を苦しめ、大切なものを奪ったのかを、私たちは歴史から学ぶことができます。

本誌に掲載している各地のミュージアムを訪れ、戦争の時代を生きた人たちのことを知り、平和について考えるきっかけにしてみませんか。

全国関連施設 ネットワーク会議

帰還者たちの記憶ミュージアム（平和祈念展示資料館）が幹事となり、関連施設間の協力体制の強化やコミュニケーションの深化などを目的とし、2023年にスタートした会議体です。

福岡県筑前町 P5
筑前町立大刀洗平和記念館

熊本県錦町 P6
山の中の海軍の町にしき
ひみつ基地ミュージアム
（錦町立人吉海軍航空基地資料館）

鹿児島県南さつま市 P7
万世特攻平和祈念館

鹿児島県南九州市 P8
知覧特攻平和会館

兵庫県姫路市 P10
姫路市平和資料館

京都府舞鶴市 P11
舞鶴引揚記念館

滋賀県東近江市 P12
滋賀県平和祈念館

岡山県岡山市 P9
岡山空襲展示室

茨城県笠間市 P13
筑波海軍航空隊記念館

茨城県阿見町 P14
予科練平和記念館

東京都千代田区 P15
昭和館

東京都千代田区 P16
しょうけい館
（戦傷病者史料館）

東京都新宿区 P17
帰還者たちの記憶ミュージアム
（平和祈念展示資料館 [総務省委託]）

関連する主な出来事

昭和3 (1928) 年	6月	満洲某重大事件(張作霖爆殺事件)
昭和5 (1930) 年	6月	昭和恐慌 予科練(海軍飛行予科練習生)の教育が始まる
昭和6 (1931) 年	9月	柳条湖事件(満洲事変勃発)
昭和7 (1932) 年	3月	「満洲国」建国宣言
	5月	五・一五事件
	9月	日満議定書調印
	10月	リットン報告書発表
昭和8 (1933) 年	2月	国際連盟、「満洲国」の不承認を採択
	3月	日本、国際連盟脱退を通告
昭和11 (1936)年	2月	二・二六事件
	8月	広田弘毅内閣、20年間で100万戸(500万人)の満洲移民の入植を決定する
昭和12 (1937)年	7月	盧溝橋事件(日中戦争勃発)
昭和13 (1938)年	4月	国家総動員法公布
昭和14 (1939)年	5月	ノモンハン事件勃発
	9月	第二次世界大戦勃発
昭和15 (1940)年	9月	日本軍、北部仏印進駐。日独伊三国軍事同盟条約調印
	10月	大政翼賛会発足
昭和16 (1941)年	4月	日ソ中立条約締結
	7月	日本軍、南部仏印進駐
	12月	日本軍、マレー半島のイギリス軍とハワイ真珠湾のアメリカ軍を攻撃(太平洋戦争勃発)。マレー沖海戦。香港攻略
昭和17 (1942)年	1月	マニラ占領
	2月	シンガポール攻略
	4月	アメリカ軍機、日本初空襲
	6月	ミッドウェー海戦
昭和18 (1943)年	2月	ガダルカナル島敗退
	5月	アッツ島守備隊玉砕
	9月	イタリア、連合国に無条件降伏
	10月	学徒出陣の壮行会が行われる
	12月	カイロ宣言
昭和19 (1944)年	7月	サイパン島陥落。東条英機内閣総辞職
	11月	マリアナを出撃したアメリカ軍のB29による東京空襲が始まる

昭和20 (1945)年	2月	ヤルタ会談
	3月	東京大空襲
	4月	アメリカ軍、沖縄本島上陸
	5月	ドイツ、連合国に無条件降伏
	6月	姫路空襲(及び7月)。岡山空襲
	8月	広島に原爆投下。ソ連、日本に宣戦布告 長崎に原爆投下。日本、ポツダム宣言受諾
	9月	日本、降伏文書に調印
昭和21 (1946)年	4月	旧満洲からの引揚第一船、博多へ入港
	5月	東京裁判始まる
	12月	抑留者を乗せたソ連本土からの引揚第一船、舞鶴へ入港
昭和22 (1947)年	5月	日本国憲法施行
昭和23 (1948)年	5月	厚生省引揚援護庁の新設
昭和25 (1950)年	4月	ソ連、抑留者の帰還が完了したと発表
	6月	朝鮮戦争勃発
昭和27 (1952)年	4月	サンフランシスコ平和条約の発効
昭和28 (1953)年	7月	朝鮮戦争の休戦協定締結
	12月	抑留者の帰還再開
昭和31 (1956)年	10月	日ソ共同宣言調印
	12月	ソ連本土からの最後の集団引揚船、舞鶴へ入港
昭和33 (1958)年	9月	旧南樺太からの最後の集団引揚船、舞鶴へ入港
	11月	最後の地方引揚援護局(舞鶴)閉局

概要 Summary

陸軍大刀洗飛行場の歴史を知る ▶ [筑前町立大刀洗平和記念館](#)
 人吉海軍航空基地の遺構を探る ▶ [山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアム](#)
 陸軍万世飛行場の歴史を学び、特攻隊員の想いを考える ▶ [万世特攻平和祈念館](#)
 陸軍知覧飛行場の歴史を学び、特攻隊員の想いを考える ▶ [知覧特攻平和会館](#)
 岡山空襲のことを学び、平和について考える ▶ [岡山空襲展示室](#)
 姫路空襲のことを学び、平和について考える ▶ [姫路市平和資料館](#)
 シベリア抑留と引き揚げの歴史について学ぶ ▶ [舞鶴引揚記念館](#)
 滋賀県と戦争の関わりを知り、平和について考える ▶ [滋賀県平和祈念館](#)
 現存する筑波海軍航空隊の遺構で当時の景色を体感する ▶ [筑波海軍航空隊記念館](#)
 予科練の歴史を学び、練習生たちの想いを考える ▶ [予科練平和記念館](#)
 国民が経験した戦争の記憶を継承し、戦中・戦後の国民生活上の労苦を伝える ▶ [昭和館](#)
 戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦を知る ▶ [しょうけい館](#)
 兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について知る ▶ [帰還者たちの記憶ミュージアム](#)

筑前町立大刀洗平和記念館

Chikuzenmachi Tachiarai Peace Memorial Museum

旧陸軍大刀洗飛行場の歴史を通して平和の大切さを語り継ぐ

山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアム

錦町立人吉海軍航空基地資料館 Nishiki Secret Base Museum

歴史体験型
フィールドミュージアム



(上)陸軍九七式戦闘機
平成8(1996)年に博多湾から引き揚げられた機体。特攻機として使用された、世界に現存する唯一の機体。

かつてこの地には、旧陸軍が東洋一を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍団が存在し、歴史的な役割を果たしながら大きく発展しました。しかし、昭和20(1945)年3月、米軍の大空襲により壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの尊い命が奪われました。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもあります。筑前町立大刀洗平和記念館は、大刀洗飛行場の歴史を通じ

て、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える施設です。館内には世界に唯一現存する陸軍九七式戦闘機、海軍零式艦上戦闘機三二型を展示、また、海軍局地戦闘機「震電」(実物大模型)も展示しています。

館内ではスタッフによる説明、映画上映や朗読(要予約)を行っています。



- 🕒 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 📅 休館日 12月26日~12月31日
- 💰 入館料 大人(大学生以上)600円(500円)
高校生500円(400円)
小学生・中学生400円(300円)
- ※()は団体割引料金(15人以上)

※入館料や休館日が変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

📞 お問い合わせ
TEL. 0946-23-1227
FAX. 0946-23-9009
http://tachiarai-heiwa.jp



- 📍 交通アクセス
〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田2561-1
- 車:大分自動車道
筑後小郡IC・甘木ICから約10分
- 電車:JR鹿児島本線・
基山駅または
西鉄天神大牟田線・
小郡駅で甘木鉄道に
乗り換え、大刀洗駅下車すぐ



筑前町立大刀洗平和記念館



九三式中間練習機
「赤とんぼ」
(実物大模型)



太平洋戦争中の昭和18(1943)年、九州山地に囲まれ、海のない人吉盆地につくられた「人吉海軍航空基地」。ここには、終戦を迎える昭和20(1945)年8月まで、飛行予科練習生の教育や特攻隊の訓練、海軍航空廠など、様々な役割を持った部隊が、村一つ分の広大なエリアの中で活動していました。戦後70年がたった平成27(2015)年、「人吉海軍航空隊を顕彰する有志の会」の

調査・研究により、当時の姿を鮮明にとどめる様々な遺構が発見されました。山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアムはそれら遺構を展示物と捉え、それらが点在するエリアをフィールドミュージアム(野外博物館)として案内する施設です。入館料に含まれるガイドツアーは、専門ガイドが案内する人気のツアーとなっています。

- 🕒 開館時間 9:00~16:00(7~8月は17:00まで)
- 📅 休館日 年末年始
- 💰 入館料 大人1000円~
学生(大・専・高・中・小)700円~
※令和8年4月1日改訂

※入館料には地下施設へのガイドツアーが含まれます。※入館プランは3種類よりお選びいただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

📞 お問い合わせ
TEL. 0966-28-8080
FAX. 0966-28-8081
https://132base.jp



- 📍 交通アクセス
〒868-0301
熊本県球磨郡錦町木上西2-107
- 車:九州自動車道[下り]人吉ICより、
[上り]人吉球磨SICより約15分
- 高速バス:福岡与宮崎 フェニックス号 人吉IC下車、
タクシーで約15分



山の中の海軍の町にしき ひみつ基地ミュージアム

ばんせいとつこうへいわきねんかん 万世特攻平和祈念館

Bansei Peace Memorial Museum

空に憧れ、
空に散った201名の
想いを語り継がん

平和への祈りを込めて

今、平和です。本当に平和です。この平和は、誰が築いたのでしょか。「血と涙」で築き上げられたのが、今の平和です。

昭和19(1944)年終わり頃、日本三大砂丘の吹上浜に陸軍最後の飛行場が建設されました。終戦間際のわずか4ヶ月しか使われなかったので「幻の特攻基地」と言われています。

そしてこの万世特攻基地から17歳の少年飛行兵を含む201名の特攻隊員が祖国を護るために沖縄に出撃していきました。

特攻隊員には遺骨はありません。しかし、この世に書き残した遺書や肉親に残された遺品があります。

平和の礎となられた方々に「鎮魂とご冥福」の誠を捧げつつ、残された品々で今後も「平和の尊さ・大切さ」の情報発信に努めて参ります。



第72振武隊
5月26日出撃前の14時頃搭乗する特攻機の機体整備を見守る隊員たち。仔犬を抱く荒木伍長は、天候不良で翌27日5時に出撃・散華。



祈念館と万世特攻慰霊碑「よろずよに」

少年飛行兵が憧れた95式複葉練習機を模した祈念館。「よろずよに」碑は出撃・散華した沖縄の方角を向く。

(左)2階展示コーナー

201名の隊員達が死を間近に控えた時に肉親・兄弟・愛する人へ宛てた最期の遺書・手紙・血書等を展示しています。

ちらんとつこうへいわかいかん 知覧特攻平和会館

Chiran Peace Museum

特攻隊員が残した
遺書・手紙から
平和を考える



遺品室 「再現された特攻機」

当館は、太平洋戦争末期の沖縄戦で爆弾を装着した飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員の遺影、遺書・手紙を展示している資料館です。

昭和16(1941)年に陸軍飛行学校の知覧分教所として開所し、飛行兵の訓練場として使われていましたが戦況が悪化した昭和20(1945)年に特攻基地となり20歳前後の若い隊員達が出撃していきました。

知覧が特攻隊の出撃地であったことから、特攻で戦死された隊員1,036名の記録の後

世に残し、史実を多くの方に知っていただくために飛行場跡地の一面に知覧特攻平和会館が建設されました。館内では隊員の遺品、飛行機、飛行場のジオラマ、証言映像などの展示をはじめ、定期的に語り部の講話や解説映像の上映を行っています。

母親に宛てた遺書

遺書を書いた若松藤夫少尉は昭和20(1945)年6月3日に知覧から出撃し19歳で戦死した。

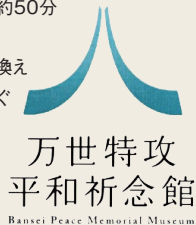


🕒 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
📅 休館日 12月31日及び1月1日
💰 入館料 大人(高校生以上)310円(260円)
小人(小・中学生)210円(150円)
※()は団体割引料金(20人以上)

📞 お問い合わせ
TEL/FAX. 0993-52-3979
<https://bansei-tokkou.jp>



📍 交通アクセス
〒897-1123
鹿児島県南さつま市加世田高橋1955番地3
●車:九州自動車道 「鹿児島IC」から約50分
●バス:鹿児島中央駅より
鹿児島中央駅~加世田(約85分)乗り換え
加世田~海浜温泉前(約10分)下車すぐ
※空港からは鹿児島中央駅経由
※()は所要時間



🕒 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
📅 休館日 年中無休
💰 入館料 高校生以上500円(400円)
小中学生300円(240円)
※()は団体割引料金(30人以上)

📞 お問い合わせ
TEL. 0993-83-2525
FAX. 0993-83-4859
<https://www.chiran-tokkou.jp/>



📍 交通アクセス
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡17881
●バス:鹿児島中央駅より
「特攻観音入口」下車、徒歩5分
●車:指宿スカイライン
知覧ICから約20分

知覧特攻平和会館

Chiran Peace Museum

岡山空襲展示室

Exhibition Room of the Okayama Air Raids

岡山空襲の実態と被害を知り、平和の尊さを次世代へ

姫路市平和資料館

Himeji Historical Peace Center

空襲の恐ろしさを疑似体験できる



(上左) 空襲開始から4分後をさす腕時計
焼け跡から見つかった腕時計。岡山空襲が始まった時間から4分後をさしたまま止まっています。

(上右) 岡山空襲で使われた2種類の焼夷弾
大型のM47焼夷弾と小型のM74焼夷弾。合計で約890トンが落とされ、市街地が焼け野原になりました。

アジア・太平洋戦争のさなかの昭和20(1945)年6月29日、岡山市は138機のアメリカ軍爆撃機B-29による空襲を受けました。

岡山空襲展示室では、この岡山空襲に関する資料や写真をはじめ、アメリカ軍が作成した文書や写真、空襲を体験された方々の証言などを展示しています。岡山空襲がど

のように行われ、岡山がどのような被害を受けたのか、戦後どのように復興してきたのかを分かりやすく紹介しています。

展示を通じて、多くの方に平和への想いを新たにさせていただき、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝えていきます。

平成8(1996)年に開館した当館は、姫路空襲の実状を伝えるとともに、戦争の悲劇と惨禍を後世に継承し、平和の尊さを学ぶ機会を提供する施設です。1階の常設展示室では、写真パネルや実物資料、ジオラマ展示を通して、空襲や当時の生活の様子などを知ることができます。中でも特徴的なものとして、映像、音響、振動、ジオラマで空襲を再現した疑似体験装置で、その時の恐ろしさを体験できます。2階の多目的展示室では、年間を通じて企画展を開催しています。ほかに、姫路空襲の体験談を聞くことができるAVコーナーや、平和や戦争に関する図書を幅広くそろえた図書室を備えています。



防空壕(復元)と空襲疑似体験コーナー



常設展示「戦時中の暮らし」



空襲で焼けた大黒像
昭和20(1945)年7月3日の空襲で背面が焼けた青銅像の大黒像。

- 🕒 開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
- 🗓 休館日 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日~1月3日)
岡山シティミュージアム休館日

💰 入館料 無料

📞 お問い合わせ

TEL. 086-253-7070

FAX. 086-898-3003

<https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

0000022330.html



📍 交通アクセス

〒700-0024

岡山県岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム5階

●JR岡山駅運動公園口(西口)より東西連絡道で直結

🕒 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

🗓 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

祝日の翌日(土、日、祝日を除く)

年末年始(12月28日~1月5日)

💰 入館料 [常設展] 一般250円

小・中学生50円(20人以上は2割引)

[企画展] 無料

📞 お問い合わせ

TEL. 079-291-2525

FAX. 079-291-2526

<https://www.city.himeji.lg.jp/kanko/category/1-7-13-1-4-0-0-0-0-0-0.html>



📍 交通アクセス

〒670-0971

兵庫県姫路市西延末475番地(手柄山山上)

●JR「手柄山平和公園駅」より山上へ徒歩約15分

●山陽電車「手柄駅」より西へ徒歩約15分

●バス:JR姫路駅南より

「西延末・姫路市立水族館北」下車、山上へ徒歩約15分

●車:姫路バイパス「中地ランプ」から約5分



HIMEJI HISTORICAL PEACE CENTER

姫路市平和資料館

まい づる ひき あげ き ねん かん
舞鶴引揚記念館

Maizuru Repatriation Memorial Museum

引き揚げの歴史と
平和の願いを世界へ
未来へ

(上) 外観

引揚船が入港した海と約66万人が戦後の第1歩を踏みしめた棧橋を見下ろす丘の上に建つ。

(下) 抑留体験室

シベリア抑留の収容所を再現。衣類や日用品などに触れたり、板のベッドに寝転んだり過酷さを体感できる。

舞鶴市は戦後13年にわたり、引揚港として海外からの引揚者約66万人を温かく迎え入れた街です。当館は全国から託された戦後のシベリア抑留や引き揚げに関する資料を展示し、史実と平和の尊さを後世に語り継ぐため昭和63(1988)年に開館しました。平成27(2015)年には、収蔵資料のうち570点が「ユネスコ世界記憶遺産」に登録され、その一部を館内で公開しています。語り部が常駐し、極寒での過酷な労働を示す日記や防寒着、遠く離れた家族と交わした手紙など様々な資料に込められた想いを伝えています。収容所などを体感する再現コーナーも若い世代にわかりやすいと好評です。館内タッチパネルは英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、ロシア語などの多言語にも対応しています。



白樺日記

白樺の皮をノート代わりに、俳句などで抑留中の心情を綴った歌日記。世界記憶遺産に登録されている。



🕒 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

🏠 休館日 毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)
年末年始(12月29日~1月1日)

💰 入館料 一般400円(300円)
学生(小学生~大学生)150円(100円)
※()は団体割引料金(20人以上)
赤れんが博物館との共通券
一般600円、学生200円

📞 お問い合わせ

TEL. 0773-68-0836

FAX. 0773-68-0370

<https://m-hikiage-museum.jp/>しが けん へい わ き ねん かん
滋賀県平和祈念館

Shiga Peace Museum

語り継ぐ
平和への願い

基本展示「滋賀県と戦争」

滋賀県ゆかりの方々の戦争体験談や資料によって、県民が体験した戦争の記憶や記録を学べます。



信楽焼でつくられた手榴弾と地雷

焼き物で有名な甲賀市信楽で、地域住民や国民学校高等科の生徒たちを動員して生産されました。

当館は、滋賀県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願う心を育むための拠点となる施設として、平成24(2012)年3月に開館しました。基本理念は「モノと記憶の継承」「自らできることのきっかけづくり」「県民参加型の運営」の3つです。県民の戦争に関する体験談とそれにまつわる資料の収集・保管のほか、

身近な地域のできごとを紹介する基本展示と年間2回程度の企画展示、出前授業や来館者への平和学習、講座・映画会の開催などの事業を行っています。これらの事業や、当館の登録ボランティアの自主的な活動などを通じて、未来に向けた新たな行動が生まれることを目指しています。

🕒 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

🏠 休館日 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)
年末年始
※その他、業務の都合により休館する場合があります。

💰 入館料 無料

📞 お問い合わせ

TEL. 0749-46-0300

FAX. 0749-46-0350

<https://www.pref.shiga.lg.jp/heiwamuseum/>

📍 交通アクセス

〒527-0157

滋賀県東近江市下中野町431番地

●車:名神高速道路

「八日市IC」から車で約10分
(無料駐車場 約50台)●バス:近江鉄道八日市駅より
路線バス
「愛東支所・診療所前」
停留所下車すぐ

つくばかいぐんこうくうたいきねんかん
筑波海軍航空隊記念館

Tsukuba Naval Air Corps Museum

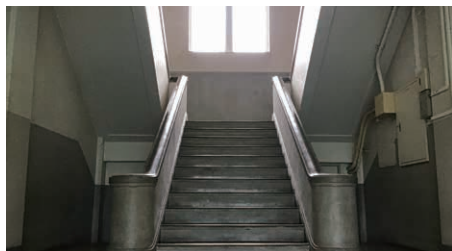
歴史を体感する記念館

当館は、筑波海軍航空隊の跡地を活用し、同隊および戦争に関する記録の収集・保存・公開を行っています。

筑波海軍航空隊は昭和9(1934)年に戦闘機などの操縦訓練を行う練習航空隊として開隊されました。太平洋戦争末期には特別攻撃隊も編制され、「特攻」の訓練も行われました。敷地内にあった司令部庁舎は戦後も残り、様々な形で現在まで活用されてきました。終戦から年月を経ても多くの史跡が当時の面影を色濃く残したまま現存しています。

当館はこれらの史跡群を活用し、一歴史を体感する一という理念の元、戦争遺跡の存在意義を世に問うために設立されました。

ご来館いただいた皆さまにとって、戦争や、命・平和の尊さについて考えるきっかけになれば幸いです。



(上) 中央階段

旧司令部庁舎の正面玄関を入ってすぐの階段。石造りで荘厳な雰囲気が感じられる。

(中) 零戦模型

映画の撮影のために作成された零戦21型の等身大の模型。

(左) 旧司令部庁舎

昭和13(1938)年に建設された海軍航空隊の本庁舎。ほとんど当時のままの姿で現存している。

🕒 開館時間 9:00～17:00(入館は16:00まで)

🏠 休館日 毎週火曜日
年末年始(12月29日～1月3日)

💰 入館料 大人(18歳以上)500円
小学生以上400円(ワークシート付)

📞 お問い合わせ

TEL. 0296-73-5777

FAX. 0296-73-5777

<https://p-ibaraki.com/>



📍 交通アクセス

〒309-1717

茨城県笠間市旭町654(県立こころの医療センター敷地内)

●電車:JR常磐線・水戸線「友部駅」南口から2.5km

●バス:茨城交通バスを利用し、「県立こころの医療センター」もしくは「友部第二小学校前」で下車

●車:北関東自動車道 友部ICから約7分、常磐自動車道 友部SA スマートICから約15分

筑波海軍航空隊記念館

よかれんへいわきねんかん
予科練平和記念館

Yokaren Peace Memorial Museum

予科練に志願した
少年たちを通して
命の尊さと
平和への認識を深める

茨城県阿見町は、大正時代に霞ヶ浦海軍航空隊が開隊され、昭和14(1939)年に飛行予科練習部いわゆる「予科練」が、神奈川県横須賀から移転して以来、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心的な役割を担うこととなりました。

海軍の町としての歴史を歩んできた阿見町は、我が国の近現代史の中でも特別な時代を経て、日本が経験してきた戦争と平和を考える上で、忘れることのできない多くの事柄をその風土と歴史の中に刻み込んでいます。



『綱引き』 昭和19(1944)年

写真家土門拳が撮影した予科練生による綱引きの写真。

このような歴史的背景の中で、貴重な予科練の歴史や阿見町の戦史の記録を保存・展示するとともに、次の世代に正確に伝承し、命の尊さや平和の大切さを考えていただくために当館が建設されました。



外観 平成22(2010)年2月2日開館。



展示室

予科練生の教室を再現した「訓練」の部屋。

🕒 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

🏠 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)
年末年始

💰 入館料 大人500円(400円)
小中高生300円(240円)

※()は団体割引料金(20人以上)

📞 お問い合わせ

TEL. 029-891-3344

FAX. 029-888-2470

<https://www.yokaren-heiwa.jp/>



📍 交通アクセス

〒300-0302 茨城県稲敷郡阿見町廻戸5-1

●車:常磐自動車道 桜土浦ICから国道125号バイパスを利用約15分 / 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

牛久阿見IC・阿見東ICからそれぞれ約15分

●バス:JR常磐線「土浦駅」西口の1番バス乗り場から「阿見坂下」停留所下車、徒歩3分(関東鉄道バス、JRバス)

予科練平和記念館
YOKAREN PEACE MEMORIAL MUSEUM

しょうわかん
昭和館

National Showa Memorial Museum

伝えたい、
戦争の記憶と
国民のくらし

しょうけい館
せんしょうびやうしや しりやうかん
戦傷病者史料館

Historical Materials Hall
for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

戦傷病者と
その家族の労苦を
語り継ぐ



常設展示室「銃後の備えと空襲」



トリックアート「国会議事堂周辺の焼け跡」

当館は、昭和の時代に国民が経験した戦争の記憶を継承し、戦中・戦後（昭和10年頃から30年代）の国民の生活に係る歴史的資料を収集・保存・展示し、労苦を次世代に伝える国立の施設です。先の大戦が終わってから81年がたちますが、その当時の人々がどのような生活を送り、どのような労苦を経験したのかを詳しく知る人は少ないのではないのでしょうか。戦争によって食糧や日用品が行き届かなくなる様子や、戦争が終わり、混乱を乗り越えて戦後復興を果たすまでの国民生活を理解することができます。



当館は、戦傷病者とその家族などが体験した戦中・戦後の労苦に関する証言や歴史的な資料などを収集し、保存・展示している施設です。戦傷病者とその家族の労苦を知り、受け継ぎ語り継ぐという意味を込めて「承継（しょうけい）」を館名としています。

平成18（2006）年、東京都千代田区九段南に開館、令和5（2023）年に九段北に移転、リニューアルしました。常設展示室では、戦

場で負傷したある兵士の足跡をたどる形で当時の労苦を紹介しています。戦闘で左眼を受傷したときのメガネや摘出弾などの実物資料を展示、野戦病院のジオラマでは戦地での救護活動の様子をリアルに紹介しています。図書室では関連の図書や資料を、シアターでは戦傷病者の証言映像をご覧いただけます。



砲弾で割れたメガネ
弾は頭部まで達したが野戦病院で摘出手術を受け、一命を取り留めた。



野戦病院ジオラマ

🕒 開館時間 10:00～17:30（入館は17:00まで）

🗓 休館日 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）

💰 入館料 大人400円（320円）
65歳以上360円（300円）
高校生・大学生200円（160円）
※（ ）は団体割引料金（20人以上）
※中学生以下は無料

📞 お問い合わせ
Tel. 03-3222-2577
Fax. 03-3222-2575
<https://www.showakan.go.jp>



📍 交通アクセス

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
●地下鉄「九段下」駅出口4から徒歩1分
（東西線・半蔵門線・都営新宿線）



🕒 開館時間 10:00～17:30（入館は17:00まで）

🗓 休館日 月曜日
（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）

💰 入館料 無料
📞 お問い合わせ
Tel. 03-3234-7821
Fax. 03-3234-7826
<https://www.shokeikan.go.jp>



📍 交通アクセス

〒102-0073
東京都千代田区九段北1-11-5 グリーンオーク九段 2階
●東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅
7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分



帰還者たちの記憶ミュージアム

平和祈念展示資料館 [総務省委託]

Memorial Museum for Soldiers, Detainees in Siberia, and Postwar Repatriates

兵士・抑留者・
引揚者の
労苦を知る



(上左) 袖なしの防寒外套

持ち主は酷寒の抑留生活で飢えに耐えかね、現地の労働者が持っていたパンと外套の袖を交換した。

(上右) おむつで作った子ども用ワンピース

日本に引き揚げる際に幼い娘に着せようと、母親が亡くなった赤ん坊の形見の布おむつで作ったもの。

当館は、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、広く知っていたための施設です。さきの大戦では、多くの一般の人々が兵士となり、家族や友人などの大切な人たちを故郷に残して、戦地に向かいました。終戦後、ソ連軍によって約60万人もの日本の軍人・軍属や一部の民間人が、シベリアをはじめとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の

地に連行され、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられました。また旧満洲など海外にいた民間人の多くは、身に危険が迫る過酷な状況の中で祖国へと引き揚げなければなりません。当館では、こうした戦争が終わってからも苦しくらい体験をした人々に関する実物資料やグラフィック、映像、ジオラマなどを展示しています。

🕒 開館時間 9:30~17:30(入館は17:00まで)

🏠 休館日 月曜日
(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始
新宿住友ビル全館休館日

💰 入館料 無料

📞 お問い合わせ
TEL. 03-5323-8709
FAX. 03-5323-8714
<https://www.heiwakinen.go.jp>



📍 交通アクセス

〒163-0233
東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
●都営大江戸線「都庁前」駅 A6出口より徒歩約1分
●東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅より徒歩約5分
●JR線・小田急線・京王線「新宿」駅西口より徒歩約10分



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館 [総務省委託]

1	
2	
3	
4	
5	8
6	9
7	10
	11
	12
	13

表紙の写真

1. 筑波海軍航空隊記念館
飛行長室
2. しょうけい館
砲弾で割れたメガネ
3. 姫路市平和資料館
防空壕
4. 筑前町立大刀洗平和記念館
海軍局地戦闘機「震電」(実物大模型)
5. 昭和館
トリックアート「国会議事堂周辺の焼け跡」
6. 岡山空襲展示室
空襲を受ける岡山市街地の写真
7. 帰還者たちの記憶ミュージアム
戦後強制抑留者の収容所生活を再現したジオラマ「食事の分配」
8. 万世特攻平和祈念館
施設外観
9. 滋賀県平和祈念館
平和の燈(ともしび)
10. 舞鶴引揚記念館
ユネスコ世界記憶遺産登録資料
11. 予科練平和記念館
零式艦上戦闘機二一型実物大模型
平成27(2015)年開館五周年記念事業として作成した実物大の零戦模型
12. 山の中の海軍の町 にしき ひみつ基地ミュージアム
地下魚雷調整場
13. 知覧特攻平和会館
特攻勇士の像「とこしえに」

見て・学んで・考える 平和のこと ミュージアムガイド

2026年4月発行
全国関連施設ネットワーク会議 事務局
[帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館)]
東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
TEL:03-5323-8709